



～見事なまでの凝縮感と深遠さ～ ナパ・カベの名手トーマス・リヴァース・ブラウンが造るソノマ・コースト(アナポリス)ピノ・ノワール

ウルトラ・プレミアムなナパ・カベを造るシュレイダーのフレッド・シュレイダーは、ウルトラ・プレミアムなピノ・ノワールも探求。ワインメーカートーマス・リヴァース・ブラウンが2001年にソノマ・コーストの最北アナポリスに未開墾の土地を見つけ、フレッドと共同経営者として「アストン・エステイト」を創業。畑は海からは8km、二つの丘陵を越えた森林に囲まれ、土壌はゴールドリッジ、標高は約300m、栽培面積16ha、霧はざりざり畑にはかからず、涼しい風が入り込む。アストンの特徴のひとつディジョン・クローン (115, 667, 777) の個性が大きく現れる凝縮した濃厚な味わい。2021年トーマスが単独オーナーとなり更なる高みを目指す。



限定品

| 商品写真 | 商品名 | AVA | タイプ | 年 | 容量(ml) | 希望小売価格 | 摘要 |
|--|---|--------------|-----|--------------|--------|---------|--|
|  | Pinot Noir Sonoma Coast (ホワイト・ラベル) ピノ・ノワール ソノマ・コースト | Sonoma Coast | 赤 | 2019 2020 | 750 | ¥8,500 | 19)94P Jeb Dunnuck 僅少 新20VTG 価格変更なし |
| Pinot Noir100%、自社畑アストン・エステイトとソノマ・コーストの畑をブレンド、Xラベルと全く同じ造り方 仏産樽熟成10ヵ月(新樽率10%) 1年早くリリース。アナポリス自社畑の個性をそのままに赤系ベリー、チェリー、クランベリーなどフレッシュな果実が爆発するように弾け出す。濃厚さと共にフレッシュな酸とのバランスを重視し、リリースしてすぐに生き生きとして果実とスパイシーな魅力を堪能できる。 | | | | | | | |
|  | Estate Pinot Noir Sonoma Coast (Xラベル) エステイト ピノ・ノワール ソノマ・コースト | Sonoma Coast | 赤 | 2018 | 750 | ¥14,500 | 93P Jeb Dunnuck 再入荷 |
| Pinot Noir100%、自社畑アストン・エステイト100%、仏産樽熟成10ヵ月(新樽率10%)。セレクトした最上級の樽からトップ・キュヴェとしてのブレンド。一年の瓶熟後リリース。最初の見た目、香り、ひと口目から強い個性が眩く印象的。濃厚な深いルビー色、完熟した赤スグリ、野生の赤系ベリー、アメリカン・ブラック・チェリー、夜花開くジャスミンのが立ち上がる。クリーミーでシルクのように柔らかい口当たり、口中に広がるフル・ボディで濃厚な果実味。 | | | | | | | |



アストン
エステイト

ナパ・カベルネの名手トーマス・リヴァース・ブラウンが造るソノマ・コースト最北(アナポリス)ピノ・ノワール
2021年トーマス・リヴァース・ブラウンが単独オーナーとなりました。今後の変化が楽しみ。

3人の創業者フレッド・シュレイダー(シュレイダー・セラーズ)& チャールズ・スウィニー(ヴァイン・クリフ) & トーマス・リヴァース・ブラウンが2001年にスタート

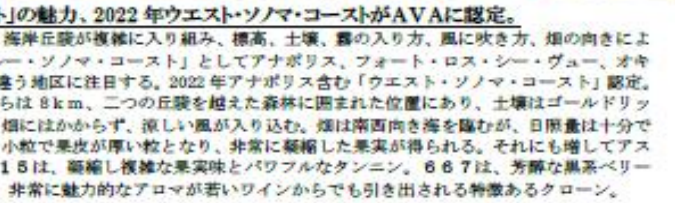
ナパ・ヴァレー/カベルネ・ソーヴィニヨンで絶対的な最高評価を受ける「シュレイダー・セラーズ」の創業者フレッド・シュレイダーとそのワインメーカーのトーマスは、ウルトラ・プレミアムなピノ・ノワールを造ることができる畑を求め、2001年にソノマ・コーストの最北アナポリスにその畑を見出し「アストン・エステイト」をヴァイン・クリフのオーナー・チャールズ・スウィニーと共に3人の共同オーナーとして2001年シュレイダー・セラーズの中のひとつのブランドとして創業。2017年シュレイダー・セラーズはコンステレーション傘下となり、アストンは単独オーナーとして独立。2021年トーマスがチャールズ・スウィニーから全権を購入し単独オーナーとなる。

トーマス・リヴァース・ブラウン
1997年から2000年までターリーのの下で修業し、2000年にシュレイダーの醸造家に就任。2001年にソノマ・コーストの最北アナポリスに近い未開墾の土地を見つけ、「これぞウルトラ・プレミアム・ピノ・ノワールを造ることができる畑」とフレッドと共に3人の共同経営者として「アストン・エステイト」を創業。現在は引く手あまたなスター・ワインメーカーとして15社近くのワイン造りを手助け「ニュー・ワールドでもっとも偉大なカベルネ生産者」の評価を得ており、また自分の名を冠した「リヴァース・マリー」で造るピノ・ノワールも高評価。

故ユリシス・ヴァルデス (ヴァンヤード・マネージャー)
ソノマ・コーストの畑を知り尽くし、自社畑の葡萄は多くのプレミアムな生産者から引く手あまた。特にオーベルがシャルドネ、ピノ・ノワールともユリシスのUV Vineyard, UV-SL Vineyardから調達することで有名。2018年に49歳の若さで惜しまれて急死。現在ヴァルデス&サンズ・ヴァンヤード管理会社が家族経営でユリシスの意志を引き継ぐ。アストンではこのチームなくして、この葡萄の個性を凝縮した特別なワインを造ることはできない。

「最大のキーポイント」畑、土壌、クローン、栽培 「トゥルー・ソノマ・コースト」の魅力、2022年ウエスト・ソノマ・コーストがAVAに認定。

ソノマ・コーストは、南のカーネロスから北のアナポリスまで非常に広い地域で、海岸丘陵が複雑に入り組み、標高、土壌、霧の入り方、風に吹き方、畑の向きによる日照量の違い等、とても一口では語れない地区であるが、生産者たちは「トゥルー・ソノマ・コースト」としてアナポリス、フォート・ロス・シー・ビュー、オキシデンタル/フリーストーン、ベタルマ・ギャップと優良な葡萄が作られる個性の違う地区に注目する。2022年アナポリス含む「ウエスト・ソノマ・コースト」認定。2001年に見いだされたアストン・エステイトは最北アナポリス地区にあり、海からは8km、二つの丘陵を越えた森林に囲まれた位置にあり、土壌はゴールドリッジ堆積土壌、水はけがとても良い。標高は約300m、栽培面積16ha、霧はざりざり畑にはかからず、涼しい風が入り込む。畑は南西向き海を臨むが、日照量は十分で日中は非常に暑く、夜から朝にかけては気温が大きく下がる。収量を極端に抑え、小粒で果皮が厚い粒となり、非常に凝縮した果実が得られる。それにも増してアストンの特徴ある要素は3つのクローンの個性が大きい。ディジョン・クローン115は、凝縮し複雑な果実味とパワフルなタンニン。667は、芳醇な黒系ベリーとスパイシーな要素が凝縮。777は特に寒冷地で早熟で赤系果実が全面に現れ、非常に魅力的なアロマが若いワインからでも引き出される特徴あるクローン。





★自社畑(アナボリス)から絶妙なブレnding。「ホワイト・ラベル」は X ラベル(トップキュヴェ)をセレクトした後のセカンド的ワインですが、明確なコンセプトを持つ〜フレッシュ・バランス〜

ピノ・ノワール ソノマ・コースト 小売価格(税別)
2020 Pinot Noir Sonoma Coast (ホワイト・ラベル) 8,500 円

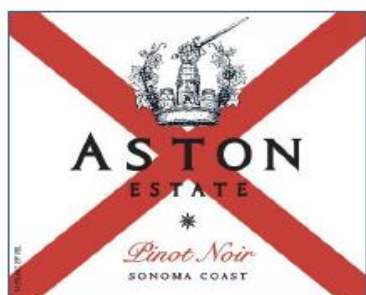
品種：ピノ・ノワール100%、畑：アストン・エステイト(自社畑)100% 今後はソノマ・コーストの他の畑がブレンドされる可能性もあり。

醸造：年によるが、ほぼ全除梗。仏産樽熟成約10ヵ月(新樽率10%)。瓶熟成約2年

ヴィンテージ：2020年はチャレンジングな年と言われるが、ソノマ・コーストの中でも最北に位置するアナボリスの畑では8月の収穫までは非常に順調な生育期間となり、山火事が起きた時にはほぼすべての畑で収穫が終わっていた。また煙害を気にするまでには十分な時間の余裕があり、十分に成熟しながら、糖度が高くなり過ぎず、酸をキープし、高品質で凝縮した葡萄が収穫できた。果実味たっぷりと言うわけではなく、果実と酸のバランスがとれ、畑の個性がしっかりと現れている。

味わい：ソノマ・コーストアナボリスの特徴(赤い果実の凝縮と秀逸な酸がバランスする)がよく表現された仕上がり。2020年のソノマ・コースト・ピノ・ノワールは、力強く充実した生育期間を過ごし、深くて濃い、骨格のあるワインとなった。グラスの中では、濃い紫色の色調を示し、月桂樹の葉、甘酸っぱい木苺、ブラッドオレンジ、杉の木などのエキゾチックな香りがグラスから一斉に立ち上がる。口に含むと、フレッシュな果実、赤いチェリー、砕いた岩、プライムローズ(小型の薔薇)のニュアンスが口いっぱいに広がる。このワインには飲んだとたんのわかりやすさと、飲み進める度に生まれる複雑さがあり、今飲んで楽しむ、時間と共にどのように変化していくか大きな楽しみがある。

輸入・販売：株式会社中川ワイン TEL：03-5829-8161



アストン
エステート

新コンセプト・上級キュヴェ



**★樽セレクトした特別トップ・キュヴェ 自社畑の葡萄のみを使う
 今までより更にアップグレードした深みと複雑性が顕著に現れています。**

エステート ピノ・ノワール ソノマ・コースト 小売価格(税別)
2018 Estate Pinot Noir Sonoma Coast (Xラベル) 14,500 円

品種：ピノ・ノワール100%、畑：アストン・エステイト(自社畑)100%、アナボリス地区、ソノマ・コースト

醸造：年によるが、ほぼ全除梗。仏産樽熟成約10ヵ月(新樽率10%)。瓶熟成約3年

ヴィンテージ：2018年は全てのワインメーカーの夢が叶ったような素晴らしいヴィンテージ。こういったワインを造りたいとワインメーカーが思う通りの栽培管理・収穫をすることが出来た。アストンでは十分に長い生育期間が取れ、完璧に完熟した葡萄を収穫できた。酸の保有も完璧で醸造前から望む通りのワインが出来ると確信できる稀有なヴィンテージとなった。

味わい：グラスに注がれたワインは、赤紫の濃厚な色合いを示し、香りはブルーベリー、プラム、ブルーのようなピノ・ノワールには当てはまらない濃い系の香りが溢れる。味わいは濃厚ながら、奥行きと広がりがあり、口いっぱいにしなやかなタンニンが横にも縦にも広がっていく。ブラックベリー・ジャム、プラムなどの濃厚な黒系ベリーと、ペイキング・スパイスのナツメグが心地よく、たばこ、赤土を思わせる鉄っぽさ、ミント系ハーブ、トリュフのような個性的なニュアンスも現れてくる。クリーミーでシルクのように滑らかな口当たり、フル・ボディで濃厚な果実味に、ディジョン・クローンの特徴が最大限に発揮されているが、今までのヴィンテージよりも、酸の取り込ませ方が見事で、濃厚なだけでなく清涼感も加わる。アナボリスのテロワールの個性が更なる可能性を広げていくことに興奮を感じる。まだまだ将来が楽しみである。

93P JEB DUNNUCK.COM dated July, 2021 by Jeb Dunnuck

輸入・販売：株式会社中川ワイン TEL：03-5829-8161